

東京の生協のまちづくり活動トピックス

まちづくり活動では、地域のつながりづくりを大切にしています。
今回は、地域や団体によるさまざまな形でのつながりを紹介します。

コープみらい/東京葛飾医療生協

お買い物ついでに健康チェック！

毎月第2水曜日にコープみらい葛飾白鳥店の店内で、東京葛飾医療生協白鳥支部による健康チェックを行なっています。葛飾区にコープみらい葛飾白鳥店ができたことから、2つの生協で連携できることはないか話し合いを重ねて、2023年2月にコープみらいのフードドライブと東京葛飾医療生協の健康チェックのコラボが実現しました。その後2023年10月から毎月開催して1年が経ちました。

以前は駅前で行っていた健康チェックですが、店舗内で出来るようになってから受けてくださる方が増え、買い物に来た方に「血管年齢計ってみませんか」とお声掛けをすると、次々と健康チェックを受けられることがしばしばあります。看護師やケースワーカーが血管年齢、血圧、酸素飽和度を計りながら色々な相談にのって話が弾んでいます。「特に悪い数字はなくて大丈夫だった」と嬉しそうに帰って行かれる方に、来月も来てくださいねと元気に声を掛け、自然に笑顔がこぼれます。お互いができることで、ゆるやかな生協のつながりが感じられる場所となっています。



足立区まちづくり

あだちNPOフェスティバル2024に参加しました



11月16日(土)・17日(日)開催の区内NPO団体のフェスティバルに、初日はブースで出展し、2日間に渡って行われたスタンプラリーに景品28本を提供しました。

ブース出展では、コープみらいのスタディドライブ、パルシステム東京のジュース販売と無料の「脱穀&もみすり体験」、東都生協のお菓子販売、東京ほくと医療生協の無料の握力・血圧測定と有料の骨密度測定による健康チェックを行いました。ブースには途切れることなく来場者があり、多くの区民とNPO団体へ「生協のまちづくり」をお知らせし、ふれあうことができました。

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協



生協の足立区まちづくり賞：CO・OPほっとセット



東久留米市まちづくり

防災ミニ学習

～災害から命とくらしを守る備えについて学ぶ～

10月23日(水)、災害時に地域や家庭で命とくらしを守るために、在宅避難とローリングストックについて学びました。発災直後は、公的機関の助けを待っていても、実際には手が回らないのが現状で、自助や共助が必要で、在宅避難に備えることが大切です。食料や携帯トイレを常備し、常備薬を一週間分取っておくことや、日常備蓄を確認することなど、備えておきましょう。ここで学んだことを各自が持ち帰り、自生協や地域でひろめることで、災害時に取り残される人が一人でも減ることにつながります。想像力をはたらかせて大災害が起きた時をイメージし、不安なことや、その解決方法について考える学習会でした。

※資料は、東京都生協連の防災担当が作成したものを活用しました。見てみたい、やってみたい方はお問い合わせください。

コープみらい・パルシステム東京
東都生協・西都保健生協



東京都生協連

「清瀬市社会福祉協議会」

「足立区NPO活動支援センター」を訪問

顔の見える関係づくりとして、定期的に東京都内における生活困窮者支援に関わる団体を訪問し、支援活動状況などの情報収集を行っています。今回は2つの団体を訪問しました。

どちらの団体も、支援を必要としている人は増えていて支援品が減少しているという課題や、他団体との連携など、これからの活動を考えるヒントをいただきました。



足立区NPO活動支援センター

予告

2024年度は

「まちづくり・地域活動交流のつどい」と名称を変更して開催します！

12月3日(火)に、14生協で構成された第1回実行委員会を開催しました。今年度は、新たに生活困窮者支援もテーマに加えて、現在プログラム案を検討中です。次号で詳細をお伝えします。お楽しみに♪

HPはこちら ▶

編集発行：東京都生活協同組合連合会

